



## カンボジアの子どもたちに教科書を

2017年1月 No. 59

### カンボジア便り

丸山芳彦

### 新年度の教科書を配りました

カンボジアでは 11 月から新しい学年度が始まりました。今年はクメール語の教科書を合計 1359 冊贈りました。(次ページの表)

昨年までは、11 校に対して支援していましたが、Toulsambo 校に対しては別の NGO 団体

(Friends Help Friends) が支援

を行うことになったので、今年の我々の支援は 10 校になりました。教科書は 1～2 年前より少し高くなっており、金額では 2260US ドルとなりました。

注 (Friends Help Friends はカンボジア人の作った NGO で、篤志家から寄付を募って支援を必要なところに配るなどの活動をしている)

### ■ リティさんが NFEC 2015～2016 年度の卒業生を訪問しました

9～10 月に洪水があり、NFEC (当会が支援する非正規識字学校) は、数日間休校していました。リティさんの訪問時には、NFEC 卒業後に先生になった Ya Sokhonさんと 2 人の卒業生、その母親達が集まりました。

また NFEC の女の先生 (Phal Sambath さん) の話も聞くことができました。この先生は、学校で勉強を教える傍ら、野菜、肉、魚などを売っています。

### ～目 次～

|             |     |
|-------------|-----|
| カンボジア便り     | 1～4 |
| ボランティアさんの感想 | 4～9 |
| 事務・会計報告     | 10  |



### <今年も教科書を贈りました>

| 2016-2017年度 教科書配布数 |      |          |     |     |     |     |     |      |
|--------------------|------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 学校名                | 生徒数  | 配布した教科書数 |     |     |     |     |     |      |
|                    |      | 1年生      | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 | 合計   |
| 1 Preysar          | 504  | 35       | 41  | 23  | 22  | 33  | 29  | 183  |
| 2 Rakarkor         | 332  | 49       | 40  | 14  | 12  | 18  | 16  | 149  |
| 3 Trapaingsala     | 1387 | 40       | 48  | 34  | 40  | 20  | 22  | 204  |
| 4 Preyeng          | 440  | 15       | 30  | 20  | 20  | 30  | 15  | 130  |
| 5 Toulambo         |      | 0        | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    |
| 6 Kraingpongro     | 435  | 30       | 30  | 25  | 35  | 30  | 30  | 180  |
| 7 Saksampov        | 188  | 35       | 27  | 24  | 21  | 16  | 7   | 130  |
| 8 Watkdo           | 162  | 24       | 21  | 9   | 10  | 7   | 6   | 77   |
| 9 Prekchrey        | 155  | 11       | 11  | 23  | 8   | 8   | 7   | 68   |
| 10 RS school       | 235  | 11       | 4   | 13  | 7   | 5   | 17  | 57   |
| 11 WS school       | 414  | 35       | 42  | 30  | 35  | 25  | 14  | 181  |
| 合計                 | 4252 | 285      | 294 | 215 | 210 | 192 | 163 | 1359 |

学校では 10 科目（クメール語、算数、物理、化学、生物、地理、天体、社会、歴史、英語）を教えています。



◆今回下表の、No.1 と No.2 の生徒とその母親達へのインタビューを行いました。2 人は今同じクラスで勉強しています。出席状況も良く、2015～2016 年度は 2 人とも全ての教科で平均的な点数を取り、2016～2017 年度は 8 年生（中 2）に進級しました。2 人のお母さん達は、高校に進学して欲しいと願っていますが、経済的な問題があります。

＜女の先生にインタビューするリティさん＞  
それでも子供達には何としても高校を卒業させると断言しています。

2015～2016 年度に NFEC から中学に進学した生徒

| 名前               | 性別 | 年  | 学年（2016～2017 年度） | 両親の仕事 |    |
|------------------|----|----|------------------|-------|----|
|                  |    |    |                  | 父     | 母  |
| 1/ Keov Sokhom   | 男  | 15 | 8 年生(中2)         | 農業    | 農業 |
| 2/ Chea Chamnan  | 女  | 13 | 8 年生             | 農業    | 主婦 |
| 3/ Khorn Sambath | 男  | 12 | 8 年生             | 先生    | 農業 |



### < NFEC 卒業生とその母親たち、インタビューするリティさん >

#### ■ 2016～2017 年度における NFEC 卒業生の状況

##### 2013～2014 年度に NFEC から中学に進学した生徒の状況

| No. | 名前              | 性別 | 年齢 | 学年 (2016～2017 年度) | 両親の仕事 |      |
|-----|-----------------|----|----|-------------------|-------|------|
|     |                 |    |    |                   | 父     | 母    |
| 1   | Chok Sopheaktra | 男  | 13 | 9年生(中3)           | 農業    | 農業   |
| 2   | Khorn Chamnab   | 男  | 12 | 9年生               | 農業    | 主婦   |
| 3   | Chok Sreylin    | 女  | 12 | 9年生               | 農業    | 農業   |
| 4   | Ni Saroth       | 男  | 13 | 不良になり退学           | 農業    | 農業   |
| 5   | Sam Linu        | 男  | 13 | 8年生(留年)           | ゴミ収集  | ゴミ収集 |
| 6   | Hourn Chetra    | 女  | 13 | 9年生               | 農業    | 農業   |
| 7   | Art Sreyroth    | 女  | 13 | 9年生               | 行方不明  | 農業   |
| 8   | Ty Savon        | 男  | 13 | 経済的理由で退学          | ゴミ収集  | ゴミ収集 |

NL51 号で報告した NFEC から中学に進学した 8 人の現在です。上の表で学校を続けている生徒 6 人のうち、Sam Linu 君を除いて 9 年生 (中 3) になりました。女の先生によると、Sam Linu 君は、不良仲間と付き合っていて、ドラッグもやっています。彼女は、現在は直接教えてはいませんが彼に注意を払っています。時々、父親が彼を学校に連れてきますが、休憩時間には抜け出してしまいます。中学校に行けない子供は次のような理由があります。

1. 両親の経済的な問題
2. 子供達が、お金を得るために両親を手伝っていたり、両親が仕事で不在の際に幼い弟妹の子守りや留守番をしている。
3. 家族でしばしば引っ越す場合は、子供達は学校に行けなくなり・・・
4. 不良になったり、ギャンブルにのめり込んでしまう。

■ 2014～2015 年度は、NFEC の生徒はみな 6 年生以下だったので、中学に進学した生徒はいませんでした。

#### ■ 2016～2017 年度の中学進学状況

次表の No.1 Chay Piseth 君は、父親がおらず 母親は建設作業員ですが、精神に問題がある状態です。彼は、NFEC 傍の Pagoda (仏塔) で生活しています。



彼は中学校に行くことを期待されていましたが、新学期になっても行っていません。中学校では、生徒は教材コピーや食事代で、1日 500Riel（約 1.25 ドル）が必要ですが、お金がありません。食事は、Pagoda や NFEC の先生の家で食べています。リティさんが、Piseth 君に中学校に行きたいか尋ねたところ、『行きたい』と言っています。

2016～2017年度に NFEC から中学へ進学した生徒の状況

| No. | 名前              | 性別 | 年齢 | 学年（2016～2017 年度） | 両親の仕事 |       |
|-----|-----------------|----|----|------------------|-------|-------|
|     |                 |    |    |                  | 父     | 母     |
| 1   | Chay Piseth     | 男  | 14 | 進学せず(本来なら7年生)    | 死亡    | 建設作業員 |
| 2   | Det Sreyne      | 女  | 13 | 7年生（中1）          | 建設作業員 | 主婦    |
| 3   | Ning Sreykhuoch | 女  | 13 | 7年生              | 建設作業員 | 農業    |
| 4   | Nhuornh Naren   | 女  | 12 | 7年生              | 建設作業員 | 主婦    |
| 5   | Ra Sreynoch     | 女  | 12 | 7年生              | 建設作業員 | ゴミ収集  |
| 6   | Roeun Chanda    | 女  | 13 | 7年生              | 兵隊    | 主婦    |
| 7   | Heap Sreyneat   | 女  | 13 | 7年生              | 建設作業員 | 工場作業員 |

## ボランティアさんの感想

日本と韓国の若い人達は仲が良いです！  
（グローバルフェスタにボランティア参加して）

東京韓国学校 中学3年 李 ケン

母に‘小遣いを上げるから行こう’と誘われて日韓アジア基金の行事にボランティアとして参加しました。最初集合場所に行った時は私みたいな中学生、高校生がいなかったのが家に帰りたくなりました。

でも、行事があるお台場に着いた時はビックリしました。日本で NGO の奉仕団体がこんなにたくさんあるとは思いませんでした。今回の‘グローバルフェスタ’



は、‘貧しい国の人々に私達が助ける事を考えましょう’と色んな団体が開催した行事で、うちの日韓アジア基金も‘教科書を買えないカンボジアの貧しい子供達に教科書を支援しましょう’と宣伝して募金活動をしました。以前母からこの団体の話は聞いた事がありますがすぐ忘れしました。が、その日、募金箱を首にかけて人々に‘日本と韓国の若者が一緒になってカンボジアに

<素敵なお兄さん、お姉さんと> 教科書を支援しています。一冊 160 円

です。ご協力お願いします’と100回ぐらい大きい声で叫ぶと今も夢にも出るぐらいになりました。一緒にボランティアに参加したお兄さん、お姉さん達もとても優しくしてくれて朝9時から午後5時の時間が楽しくてすぐ終わりました。会場で、あるよっぽばったおじさんが‘日本と韓国は政治家達がだめだよ。難しいね…’と話しましたが、‘大人や、政治家がそうでも若者達はどのように仲良く一緒にやっていますよ、応援しましょう’と母が答えました。

初めて参加しましたが日韓アジア基金団体の大澤おじいさん、お姉さん、お兄さん達がとても好きになりました。またビビンの会で会う約束もしました。そうです。日本と韓国の若い人達は会って話すとすぐ仲良くなります！！

## ボランティアに参加して

会社員 久慈 立朗

私は今回の参加を入れると「ビビンの会」も含めて3回ほど参加させていただきました。最初の切っ掛けは、いつもの日常と違う事がしたいという思いからでした。社会人になって、ともすれば仕事先と家の往復作業の日々となり、疲労から、内に籠るようなになっておりました。そんな状態から、なんとか抜け出したいと思いボランティアに参加することを思い立ちました。

今までのボランティア経験と言え、高校生の時に友人の誘いで「あしなが学生募金」の街頭募金演説などをした事はあったのですが、現在30歳を過ぎて、あまり「がつつり」したボランティアには抵抗があり、色々とインターネットを検索していました。そんな中、日韓アジア基金の募集を見つけました。

作業的には、大変な感じもしなかったのも、気軽に応募してみたというのが正直なところではあります。

実際に参加した感想は、学生が多いという事でした。特に中学生が自分の意志で参加しているのが大変な驚きでした。中高生との交流は、現在全くないので、接し方に悩みます。自分もおじさんになったのだと痛感させられます。しかし日々の日常生活とは違う時間を過ごせた事には感謝しております。職場での自分の仕事内容としては、1人で取りまとめる事がほとんどなのですが、一つの作業を共同で行う事も、「ぎこちなさ」すら楽しい刺激です。

また、日韓アジア基金のボランティアに参加して、ボランティア活動自体にさらに興味がわいてきました。色々な活動に参加して視野を広げて、困っている人の声を聴きたい、今後自分がどういう生き方をしていけばよいのかを、改めて考えていきたいと思いました。人生の進む方向性を決めるには、年齢的には少々遅

いのかかもしれません。しかし必ずしも遅すぎるという事も無いと思います。

またボランティアがありましたら、誘っていただければ積極的に参加したいと思います。活動を通じて少しでも人のお役に立ちたいと思います。ありがとうございました。



＜日曜にもかかわらず 14 名の方が参加くださいました＞

## ニュースレター発送ボランティアに参加して

中学 1 年 曾我 美智子

初めてのボランティア。私はずっと前からボランティアに参加してみたい、と思っていたので、とてもワクワクしていました。

私が最年少ということで、少し緊張していましたが、着いてすぐに高校生のお姉さまが声をかけてくださり、今日は一緒に頑張ろう、と言ってくださってとても嬉しくなりました。



＜作業も終盤、資料の袋詰めです＞ パフレットを手にとってくださいますように、と願って一枚一枚丁寧に折り、一人一人綺麗にあて名を書きました。ボランティアは直接的に誰かと触れ合い、反応を見て、考えて、だけじゃない。そうい



う反応を求めるのもまた、一種の見返りへの期待なのかもしれません。誰かのために、という気持ちはふとした行動の奥にひっそりと生きている。その気持ちがきっと回りまわって誰かの助けになっている。その気持ちが人のためになっているんだな、と実感できるのがボランティアなのだと思います。

率直に感想を述べると、楽しかったです。ボランティアというのはそもそも楽しいものであってはいけないのかもしれません。でもやっぱり楽しくないと続けられない。ボランティアは楽しいものだっていうこと、私はもう気付きました。もっと友達にも知ってほしいです。次回は友人を誘ってまた誰かのために楽しい時間を過ごせたら良いなと思いました。

## 「ABK（アジア文化会館）秋祭り 2016」への参加を通じて

社会人 小池拓也

私にとっての ABK 秋祭りは今年で 2 回目になります。昨年初めて参加して、このお祭りの虜になりました。様々な国の留学生たちが思い思いの自国のパフォーマンスを発表したり格安の値段で料理を販売したりと、そこで感じたことはまるで文化祭のような雰囲気だということです。祭りの会場は、普段日本語を学ぶ留学生の寄宿舍内なので、決して大きな規模ではありませんが、留学生との距離が近く交流もできるので、こんなにもアットホームな感じのイベントは初めてでした。本当に楽しくて、この日が終わると同時にまた来年も参加したいと決心するぐらいでした。

同時に私は、この日は初めて日韓アジア基金・日本のボランティアの一員として



て参加しました。当日、実際に会場に来て顔を合わせるまでは、正直不安な気持ちがありました。しかし、この組織は初参加の人も多く、気さくに迎え入れてくれる雰囲気もあったため、すぐに緊張は柔らぎ、和気あ

＜忙しくも楽しい一日が終わり、ホッとして＞  
いいあいとした雰囲気の中、活動に参加させていただきました。

今年は昨年の経験を生かして、そしてより俯瞰した目線で当日に臨めました。今回の主な活動内容は、カンボジアへの教科書支援のための募金の呼びかけと、韓国茶の無料配布です。募金の呼びかけは、「160 円募金」と称したもので、この金額がおおよそ教科書 1 冊分の支援につながります。なかなか積極的に声出しができなかったり、小さな声になってしまったりと、まだまだ未熟な点が多いですが、足を止めてくださった方々に対しては丁寧な説明を心掛けて取り組みました。韓国茶の配布に関しては、4 種類の味の中から好きな味を選んでもらうのですが、そこでお客さんとのコミュニケーションが生まれるので、年代や国籍の異なる方々から色々な意見をもらいました。なお活動に関しては、シフト制なので、ボランティアだけで 1 日が終わるということもなく、参加者としてもしっかり楽しむことができました。

私自身、ボランティア活動はこれまでの人生の中で、数えるほどしかありません。ボランティアには、ただ無償で奉仕するだけでなく、そこでしか知りえない知識や体験、人との出会い、新たな意識の芽生えなど、自分にとって様々な意味があると思います。感じることは人それぞれだと思いますが、私にとっては、日々の人生の中に彩を与えてくれると言ってもいいかもしれません。日韓アジア基金・日本でのボランティアは自分にとって非常に楽しくさせてもらっています。だからこれからも定期的に続けていきたいと考えていますし、今後もしも迷惑でなければ引き続きかかわらせていただけたら幸いです。毎回思うことではありますが、このような貴重な機会を頂きまして誠にありがとうございました。

## ABK（アジア文化会館）秋祭り・2016 に参加して 一日韓アジア基金ボランティアを通じてー

前田優華

今回私は初めてボランティアというものに参加させていただきました。もともとは韓国ないしグローバルな活動に興味を抱き探索をしていたところ、こちらの日韓アジア基金という団体のボランティア募集をみつけたというのがきっかけでした。特にボランティアという活動に意識もないまますぐさま応募させていただいた次第です。

なぜグローバルな交流活動に興味があったのかといいますと、日本国内に滞在している外国人留学生に対する意識や理解が日本人の間であまりにも薄いのではないかという問題意識を前々から抱いていたためです。日本に住む外国人の数は年々増加しているにも関わらず日本人で外国語を話せる人や、彼らがなぜ日本に来て勉強をしているのかを知る人、彼らの文化や人柄を理解して、受け止めることができる人が少ないのではないかと常々感じています。また、このような傾向



は不思議なことに隣国であるアジア圏の方に対してのほうが強いと感じています。

今回ボランティアとして参加させていただいた ABK 秋祭りは、ABK の寄宿生と



日本語学校に通う様々な国の方々と地域の方々との交流という点で、こういった私の疑問を解決するとてもいい行事であると思いました。またこのような行事があることを初めて知った私の無知も実感しましたし、このような交流がもっともっと広がればいいなとも思いました。

話がだいぶそれてしまいましたが、今回はその国際交流の場であった ABK 秋祭りに

#### <ご近所からのお子様連れが目立ちます>

てカンボジアの子供たちに教科書を贈るための募金活動のお手伝いをさせていただきました。自分だったら通り過ぎてしまいそうなところを、立ち止まって話を聴いてくださったり、お茶も飲まれずに募金だけして去って行かれる方などが意外と多く驚きましたし、そんな方々の善意でいただいたお金にとっても重みを感じました。それぞれの思いで募金をしてくださったのかは推察しかねますが、日韓アジア基金として場所を構え、声を出して呼びかけを行うことがなければ誰も集めることができなかったお金であると思います。小さなことでも、まず行動を起こすことの大切さとはこういうことなのだなあと実感しました。

今回は、私はただのボランティアとしての参加でしたので、ただただ貴重な経験をさせていただいたという感じなのが本音です。このような組織の運営や行事の準備等骨の折れる仕事や責任も多いことかと思えます。小さなことでも今後また私がお力添えできるようなことがありましたらお手伝いさせていただこうと思います。ありがとうございました。



#### <160 円は教科書 1 冊の値>

## 庶務・会計担当の大澤が会の運営から一步退きます。

2002 年より当会の庶務・会計関係の業務を担当しておりました大澤が、健康上の理由でその職を離れます。

後任は斉藤・田崎・丸山の 3 名となり、大澤の業務を分担して会の運営にあたります。慣れぬこと故、種々不行き届きのこともあろうかと存じますが、事情をご勘案頂き、宜しくお願い申し上げます。

なお大澤は、理事・活動会員としては従来通り会の運営に関わって参ります。

## 当会イベントにボランティアスタッフとして参加下さった方(敬称略・五十音順)

### 2016 年 9 月 3・4 日 ニュースレター58 号 印刷・発送作業

李知映・池田奈津実・伊部瑞希・稲垣 瑞恵・大澤 龍・川上 慶乃・北出百合子・久慈立朗・篠彩加・杉本彩・千葉まゆみ・曾我 美智子・寺門史佳・中谷優衣・西川裕貴・丸山謙二・丸山 芳彦・水谷充徳・宮下裕子・山本湧大 (20 名)

### 2016 年 10 月 1/2 日 グローバルフェスタ 2016 運営スタッフ

稲垣瑞恵・上原妃紗乃・大澤龍・金ドウヒョン・霧山祐司・小池拓也・斉藤 乃章・鈴木・田崎美里・千葉まゆみ・作道雅子・坪沼 邦生・丸山 芳彦・水谷充徳・矢嶋・李建・柳 明姫 (18 名)

### 2016 年 10 月 22 日 アジア文化会館秋祭 2016 運営スタッフ

稲垣瑞恵・今井秀香・大澤龍・キムドウヒョン・小池拓也・斉藤乃章・白藤優果・田崎美里・立石勇介・作道雅子・本間菜生・前田優華・丸山芳彦・水谷充徳・李建 (15 名)

## 2016 年 9 月 6 日～2016 年 12 月 31 日に会費・ご寄付を下された方 (敬称略・五十

|        |       |        |          |        |       |
|--------|-------|--------|----------|--------|-------|
| 市井 秀治  | 北川 節子 | 高橋 政行  | チラタ会     | 松田 えり子 | 柳 明姫  |
| 岩見 豊子  | 工藤 早苗 | 武之内 教男 | 福島 忠男・シゲ | 丸山 芳彦  | 李 遵   |
| 内尾 亜津子 | 斉藤 乃章 | 丹下 誠司  | 福本 正勝    | 森 健造   | 渡邊 京子 |
| 加藤 郁雄  | 坂口 博  | 千葉 まゆみ | 堀場 秀亨    | 矢崎 芽生  |       |

## ご入会・ご寄付のお願い

活動会員:年会費5,000円(学生、未成年者 2,000円)  
賛助会員:年会費1口5,000円(学生、未成年者 1口2,000円)  
法人会員:年会費1口10万円  
ご寄付:2,000円以上おいくらでも

郵便振替口座  
支店名 〇一九(ゼロイチキョウ)店  
口座番号 当座 00180-2-25153  
口座名義 日韓アジア基金  
(カタカナ表記 ニツカンアジアキョン)

・活動会員:活動に積極的にご参加頂ける方。  
総会での議決権がございます。

・賛助会員:定期的にご支援頂ける方。

ご支援下さった方には「日韓アジア基金ニュースレター」をお届けします。

<お問合せ先> (日本語でお願いします)

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館(A B K)内

T e l : 090-4456-2942(庶務・会計担当 大澤) FAX : 03-3946-7599 (A B K)

E-メール : jkaf@iloveasia2.sakura.ne.jp

HP: <http://www.iloveasiafund.com>

発行人 特定非営利活動法人 日韓アジア基金・日本 代表理事 江本 哲也